



全国大学生生活協同組合連合会 専務理事

福島 裕記氏

語

Hiroki Fukushima

金融

ふくしまひろき

Profile

1980年 北九州大学生生活協同組合就職。1985年 北九州大学生生活協同組合の専務理事就任。九州の連帯組織である共同仕入れ本部を創設。1991年設立された大学生協九州事業連合に移籍し、常務理事（総務部長兼任）就任。2003年 同、専務理事就任。2008年 全国大学生生活協同組合連合会の常務理事に就任。2011年より現職。

全国に206の会員生協、157万人の組合員を持つ大学生協。近年積極的に電子マネー事業に取り組んでおり、供給高（売上高）の1割近くがIC決済になっているという。流通・交通

Financial Information Technology Focus

生協が電子マネーを導入した理由

福井 福島さんは長年にわたり大学生協の改革に取り組まれてきました。その中の一つに、生協電子マネーの導入があるかと思います。本日は、その電子マネーを中心にお話をお伺いしたいと思っています。

本題に入る前に、大学生協の事業について少しご説明いただけますか。

福島 大学生協はもともと個々の大学レベルでは戦前からありました。戦時中にそれらのほとんどが解散してしまいましたが、1945年の終戦とともに再開されます。「学ぶことは食うことだ」ということで、学食で炊飯釜を炊いたりするところから始まり、その後も食堂を中心に、「食べられない」という事態を減らすことに取り組んできました。

福井 現在、学食はどの位利用されているんですか？

福島 1日最大およそ40万食を出食しています。食堂のほとんどがカ

フェテリアスタイルですが、最近はどうぶり、スパゲティといった専門業態の出店も大学から求められています。

福井 生協というと、食堂の利用のほかに、文房具や教科書等を買った覚えがあります。

福島 私どもの事業は大きく購買、書籍、食堂、サービスの4つに分けられます。購買部門は新入生のための新生活用品やPC、日常的に学内で使われる商品を中心に品揃えをしています。書籍事業は教科書が中心ですが、専門書、一般書、雑誌なども販売しています。サービス事業では語学研修や「テーマのある旅」の企画・手配などを行っています。先ほど申し上げた食堂を加えた4つの事業のほかに、共済連という組織を通して共済事業にも取り組んでいます。

福井 大学生協には、どの位の数の大学が加盟しているんですか。

福島 2014年4月末現在、大学生協の会員数は206、組合員数は157万人に達しています。その

他、全国に9つの地域の事業連合が組織され、さらに全体をまとめている連合会があります。

福井 近年、事業連合が中心になって、大学生協の電子マネー事業に積極的に取り組まれてきました。電子マネー導入の経緯について教えてくださいいただけますか。

福島 もともとは私どもの生協食堂が非常に混雑していたことから、その解消策として食堂の決済方法について考えたのが始まりです。

最初に導入したのはPETのプリペイドカードでした。その後、接触型ICプリペイドを導入してみたのですが、かえってPETよりも処理が遅くなってしまいました。そうこうするうちに、非接触型のICカードが出始め、スピードも速く、データもたくさん取り込めるということで注目したわけです。

福井 確かに、大学の食堂は昼休みの40分ぐらいが勝負ですよ。ものすごい数の学生が、いっぺんに押し寄せるとなると、決済時間の短縮は

らう 福井 正樹

Masaki Fukui

対談



Profile

ふくいまさき

1982年 野村総合研究所入社。1993年 NRIヨーロッパに赴任し、リスク管理のフレームワーク構築に従事。1995年 金融システムソリューション室長。2002年 執行役員就任。金融IT研究センター長、金融ナレッジ事業本部長、金融ITイノベーションセンター長を経て、2006年 ジョインベスト証券を創設し、代表取締役社長に就任。2009年より現職。

系の電子マネーとの違いは何か。大学生協ならでの取り組みについて、生協電子マネーの生みの親でもある全国大学生協連の福島裕記専務理事に語っていただいた。

必須です。しかも、ICカードであれば、データ量も飛躍的に増えます。

福島 最初に組合員証にICカードを導入したのは熊本大学生協で2002年のことでした。当時は、PETのプリペイドカードとICカードの差はスピードだけでした。その後、カードにそれ以外の仕組みを盛り込もうとする動きが出てきて、カードの性格が大きく変わってきました。

最初にそうした動きをとったのが鹿児島大学です。組合員証の情報以外に、健康診断の履歴、入退室管理、成績管理など11項目を載せられないかという話が持ち上がりました。そこで、まずは駐車場の管理の仕組みを入れ、次に入退室管理を入れました。こうしたことが積み重なって、1つのカードでいろいろできるように発展していきました。

Financial Information Technology Focus

流通・交通系カードとの差別化

福井 一般の流通業者が電子マネー

を発行する場合、「いかにお客様を囲い込むか」という視点が必ずあると思います。しかし生協のお客様は、大学の学生と教職員に限られています。

福島 確かに私どものマーケットは組合員の中で閉じられています。しかし、組合員の全生活費の30%ぐらいしか取り込めていません。この数字をもっと上げて効率化を図りたいと考えています。

福井 206の大学生協のうち何大学ぐらいがICカードを導入しているのですか。

福島 本年4月現在107会員です。主に食堂を中心とした導入ですが、学生証と一体化させている会員も47会員あります。接触型プリペイドも昨年6月現在53会員ほど残っており、今後IC化を進めていくこととなります。

今年はICカードの利用が非常に伸びて、一般企業の売上高に当たる「供給高」の10%近くがIC決済になりそうです。

福井 電子マネーには交通系や流通系のカードもあり、大学生も利用していると思います。生協の電子マネーを使ってもらうためにどのような工夫をされていますか。

福島 1つは、組合員自身がチャージしやすい仕組みをつくっています。チャージ専用機だけではなく、POSレジでも可能にしたり、さらには各大学の生協本部でもチャージできるようにしています。

2つめに、親御さんが生協にお金を振り込むことで、その金額をPOSレジでチャージできる仕組みを設けています。これらのお金は生協でしか使えませんが、親御さんの安心・安全に配慮しているという側面もあります。この仕組みは、生協の電子マネー以外では見かけないと思います。

3つめは、東京地区で始めた、交通系電子マネーSuicaとの連携です。サーバー型の電子マネーですが、Suicaの認証機能を利用し、食堂での利用やマネーへのチャージに



Suicaで認証することができます。都会の生協ではいろいろな方法、場所で入金できないと使ってもらえないので、そうした生活習慣に対応しています。

Financial Information Technology Focus

「ミールカード」の反響

福井 昨今、大学の周辺あるいは構内にも大手のコンビニ、スーパー、外食チェーンが入り込んでいます。こういう動きに対して何か対抗策を取っていますか。

福島 私どもには文科省の設置基準がありますので、その基準を超えて生協食堂の席数を増やすのは難しいという事情があります。そのため利用が集中する昼食時などは大混雑になってしまいます。それを見て、これまで多くの業者さんが「大学の中は儲かるのでは」と参入してきたのですが、ほとんどは出ていかれました。

しかし、大学生協は教職員・学生が自ら設立をしていることから、大学から出ていくことは基本的にできません。

そうした中で私どもが考えたのが「ミールカード」という仕組みです。これはICカードで、1日当たり500円や1,000円といった上限^(注)を設け、その範囲であれば食堂が開いている限り何でも食べることがで

きるサービスです。このカードのおかげで、朝8時すぎから学生が並んだり、夕食もそれまで150食くらいだったところが300食出たりと、食堂事業を大きく変えるような効果がありました。

このサービスは、年額12万円で始めましたが、結果的に大きな値引きを行うようなスタートとなりました。それで現在は18万円くらいになっていると思います^(注)。また、会員の状況に合わせて、例えば1日1,000円という上限を700円に変えたり、昼食だけ利用する場合には上限を500円に変えたり、パン・弁当、飲料も一緒に利用できるようにしたり、さまざまなバリエーションが生まれています。

ミールカードの是非については、当初、各会員生協の理事会でも議論されましたし、マスコミにも随分取り上げられました。大学の先生からは「自立しない学生をつくってどうするんだ」という声もありましたし、親御さんからは「十何万円もするものを一括で払って本当に信用できるのか」という心配も頂きました。また学生からも「それだけ払って、自炊を始めたらどうするのか」と疑問視されたこともあります。今では理解が進み、大体1大学で数百人単位の利用者がいます。

親御さんにはミールカードの利用データを送っており、これも好評です。「子供が何を食べているか」がわかるので、親御さんは安心できるわけです。こうした情報はネット上の「マイページ」でも確認できるのですが、見ている回数は子供より親御さんのほうが多いみたいです。

福井 「1日1,000円まで」という条件はありますが、基本的にはいつでも食事ができる「食堂の定期券」のようなものですね。生協の供給高は上がるし、親御さんは安心できるし、学生はお金がなくても食事ができる。みんなが嬉しい、非常によい仕組みですね。

福島 はい。このミールカードについてはビジネスモデル特許を取らせて頂いています。

ただ私どもとしては、サービスが過ぎることで、学生が自立できない社会人になっては困りますので、学生の自立と親御さんに対するサービスは常にバランスを考えないとけないと思っています。ですから学生にもミールカードの利用データを見て何か考えてほしいんです。例えば、自分が食べた食事の栄養価は全部出ていますので、少なかった栄養素を足すといった行動につなげて欲しいですね。

Financial Information Technology Focus

EC戦略をどう展開していくか

福井 生協のEC戦略についてお聞かせください。近年、アマゾンに代表されるECサイトの利用は学生の間でも随分増えていると思います。大学生活に必要な文房具や書籍などもそうしたECサイトで購入できる環境になっていますが、大学生協でも何か対応されていますか。

福島 大学生協では98年から書籍のECサイトを作っており、利用は伸び続けていました。しかしアマゾンなどさまざまな業者が進出してきた後もあまりサイトに手を入れな

かったため、今現在、私どものEC事業に対する取り組みは「非常に弱い」と思っています。

特に書籍の分野は、アマゾンの力が大きくわれわれのEC事業で一番影響を受けているところです。

福井 何か対策は考えられているんですか？

福島 今年、「教科書マネー」というものをつくりました。これは、すべての教科書を電子マネーで購入できるサービスです。非常に好評で、先ほどのミールカードの利用金額を超えています。

今後、大学と協力しながら、先生方にシラバスや教科書を示してもらえるようになれば、インターネットでの教科書注文も可能になるのではないかと思います。

この教科書の販売については少し難しい側面もあります。先生方が、「学生に高い教科書を購入させるのは忍びない」ということで、パワーポイントの教材を利用したり、教科書を新書版や文庫版にしたり、論文を教科書にしたりする動きが見られます。できれば教科書をきちんと1冊読んでもらいたいのですが、学生の生活を考えるとそうもいかないようで、私どもの悩みどころでもあります。

福井 ビジネスの舞台がリアル店舗からECに移ってきたことで、大学生協として何か新たな問題が出てきていたりしていませんか。

福島 第一に、私どもの理念である「安心・安全」をどう貫くか、という問題があります。ただ単にネットサイトに集客すれば済む話ではありません。大学生協は組合員がつくる組合員のための組織ですので、組合

員の方々には「自分たちの生活をよくしたい」という気持ちを持ってもらい、生協に悩みや要望を伝えていただきたいと思います。しかし、学生の生活も昔と比べると楽になってきていますので、以前のように「困ったから生協」とはいかない面があるのも確かです。

それから、私どもは「人と人とのつながり」を大切にしていきたいと考えています。今後そのための機会をいかに作り出していくかというのが課題です。学生はお互いにリアルな場所でコミュニケーションをとる中で成長していきます。そうした人と人の出会いを大事にしながら、お金の面でも共同購入のメリットを発揮して、組合員のICカードやウェブマネーの利用を増やしていきたいと思っています。

福井 生協ではECサイトで教科書を注文した場合でも、店頭でデリバリーされ、そこで人との接点ができます。実店舗とECサイトを統合した「オムニチャンネル」の発想とも言えますね。

福島 そうですね。学生に大学内のリアル店舗に来てもらうことで、大学にも来るし、友達にも会う、という状況を作り出していきたいと思えます。

福井 最後にお聞きしたいのですが、電子マネーやミールカードを運営していくと大量の情報が発生します。昨今流行りのこうしたビッグデータを活用するために何か計画などされていますか。

福島 それについては今丁度議論を始めているところです。

個々の組合員データには1年生か

ら卒業に至るまでの行動履歴、購買履歴が含まれています。これらは、学生のニーズをとらえた新たな商品をつくり出していく上で、貴重なデータと言えます。生協の店舗のスペースは限られていますので、無限に商品を増やすことはできませんが、データを活用してニーズにあった商品を提供していきたいと考えています。

商品開発もさることながら、学生のみなさんの未来に向けた活動にも活用できるのではないかと思います。大学在学中の行動履歴を分析すれば、就職活動などに活用できるかもしれません。また社会人になって年月がたった後に、学生生活の行動履歴を振り返ることができれば、次なるチャレンジに向けた気持ちも生まれるかもしれません。

福井 そうですね。

また、これからは、社会人になった後、あるいは定年近くになってからでも、大学に入って勉強しなおすような機会も増えてくるかもしれません。そうした時、生協さんのお付き合いが復活することも考えられますね。

本日は貴重なお話をどうもありがとうございました。（文中敬称略）

（注）大学によって異なる。

